

## 第2章 調査結果の分析

### 2-1. 投票参加の状況と要因

#### (1) 今回の投票・投票履歴・市議会議員選挙への関心

- ・まず、回答者の投票率（76.3%）が実際（49.27%）よりも高い点に注意する必要がある。実際には、回答しなかった人に棄権者がより多く含まれている可能性が考えられる。以下では、この点を念頭において分析をしなければならない。
- ・全般的に、今回の選挙に関心を持つ人ほど投票によく行ったこと、また、過去によく投票に行っている人ほど今回も行ったことが指摘できる。さらに、過去の投票履歴の多少と今回の選挙への関心は連動している。今回の選挙は、特に例外的なものではなく、従来どおりの参加パターンであったと考えられる。

表 市議会議員選挙の投票状況 (Q6)

		回収数	投票した	か投票した な
全体		1201	76.3	23.7
市議会議員選挙への 関心度別の	非常に関心を持った	274	96.7	3.3
	多少は関心を持った	490	84.7	15.3
	あまり関心を持たなかった	283	58.3	41.7
	全く関心を持たなかった	92	29.3	70.7
	どちらともいえない	54	70.4	29.6
	不明	8	75.0	25.0
投票状況別の	かならず投票している	624	97.3	2.7
	だいたい投票している	397	67.8	32.2
	あまり投票していない	137	22.6	77.4
	投票したことがない	17	0.0	100.0
	今回初めて有権者になった	6	83.3	16.7
	答えたくない	15	13.3	86.7
	不明	5	40.0	60.0

表 これまでの投票状況 (Q24)

		回収数	てか いな るら ず投 票し	てだ いい るた い投 票し	いあ いな り投 票し て	ない 投票 した こと が	権今 者回 には な じ め て 有	答 え た く な い	不 明
全体		1201	52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
市議会議員選挙への 関心度別の	非常に関心を持った	274	79.2	16.1	4.0	0.4	0.0	0.0	0.4
	多少は関心を持った	490	54.5	36.5	6.7	0.6	0.4	0.8	0.4
	あまり関心を持たなかった	283	34.3	40.6	19.8	2.5	1.1	1.4	0.4
	全く関心を持たなかった	92	17.4	39.1	31.5	6.5	0.0	5.4	0.0
	どちらともいえない	54	42.6	38.9	13.0	0.0	1.9	3.7	0.0
	不明	8	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5

注) 数値は回収数を100とした%

(2) 社会属性からみた投票率

- ・年齢との関係では、前回同様、25～29歳の投票率が低い。職業に関しては、その他の有業者、公務員・教員、自営業主で高く、事務系サラリーマン、自由業者で低い。
- ・大阪市に10年以上住んでいる人と10年未満の人では、明らかに差があり、居住年数の長い人の方がよく投票に行く傾向にある。
- ・過去の投票履歴では「かならず投票する」という人は、年齢が高くなるにつれて増えていく。また、その他有職者や公務員・教員、居住年数10年以上のグループが最も多い。
- ・職業別では、事務系サラリーマンや自由業者で「あまり投票していない」が多い。
- ・居住年数が短くなると、「あまり投票していない」など散発的な棄権者が多くなる。

表 市議会議員選挙の投票状況(Q6)

	回収数	投票した	投票しなかった	
全体	1201	76.3	23.7	
年齢別	20～24歳	37	73.0	27.0
	25～29歳	72	43.1	56.9
	30～39歳	183	66.7	33.3
	40～49歳	166	68.7	31.3
	50～59歳	207	77.8	22.2
	60～69歳	297	82.2	17.8
	70歳以上	235	91.1	8.9
	不明	4	75.0	25.0
性別	男性	530	79.8	20.2
	女性	666	73.4	26.6
	不明	5	80.0	20.0
職業別	自営業主およびその家族従事者	222	79.3	20.7
	公務員、教員	35	80.0	20.0
	民間会社勤務・事務	186	66.7	33.3
	民間会社勤務・現業	106	72.6	27.4
	民間会社勤務・管理職	41	75.6	24.4
	医師・弁護士などの自由業者	49	61.2	38.8
	その他の有業者	77	85.7	14.3
	学生	12	66.7	33.3
	無職(学生以外の無職)	462	80.1	19.9
	不明	11	54.5	45.5
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	433	73.9	26.1
	10年以上住んでいる	582	79.9	20.1
	5年以上10年住んでいる	80	68.8	31.3
	3年以上5年未満住んでいる	51	72.5	27.5
	3年未満住んでいる	35	65.7	34.3
	不明	20	80.0	20.0

表 これまでの投票状況(Q24)

かならず投票している	だいたい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	不明
52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
43.2	27.0	10.8	2.7	16.2	0.0	0.0
22.2	25.0	33.3	13.9	0.0	4.2	1.4
37.2	41.0	19.7	0.5	0.0	0.5	1.1
43.4	38.6	14.5	1.2	0.0	2.4	0.0
50.7	36.2	10.1	0.5	0.0	2.4	0.0
59.9	33.0	5.7	0.7	0.0	0.3	0.3
71.5	23.8	4.3	0.0	0.0	0.4	0.0
25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
53.6	34.0	9.8	0.6	0.4	1.3	0.4
50.6	32.6	12.6	2.1	0.6	1.2	0.3
60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
55.9	31.1	9.9	1.4	0.0	0.9	0.9
60.0	28.6	8.6	0.0	0.0	2.9	0.0
39.8	39.2	18.8	0.5	0.5	1.1	0.0
39.6	42.5	12.3	0.0	0.9	3.8	0.9
48.8	43.9	4.9	0.0	0.0	2.4	0.0
36.7	44.9	14.3	4.1	0.0	0.0	0.0
61.0	29.9	5.2	1.3	1.3	0.0	1.3
58.3	25.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
57.8	28.6	10.6	1.7	0.2	1.1	0.0
36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1
51.7	30.5	13.4	1.8	1.2	1.2	0.2
55.8	34.2	7.9	0.3	0.0	1.4	0.3
47.5	35.0	13.8	1.3	0.0	1.3	1.3
35.3	37.3	19.6	7.8	0.0	0.0	0.0
31.4	31.4	28.6	2.9	2.9	0.0	2.9
40.0	40.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

表 市議会議員選挙の関心度(Q5)

	回収数	関心を持った計	非常に関心を持った	多少は関心を持った	関心を持たなかった計	あまり関心を持たなかった	全く関心を持たなかった	どちらともいえない	不明	
全体	1201	63.6	22.8	40.8	31.3	23.6	7.7	4.5	0.7	
年齢別	20～24歳	37	37.8	18.9	18.9	48.6	37.8	10.8	10.8	2.7
	25～29歳	72	38.9	5.6	33.3	55.5	34.7	20.8	5.6	0.0
	30～39歳	183	51.4	14.2	37.2	42.1	29.5	12.6	4.4	2.2
	40～49歳	166	53.0	20.5	32.5	41.5	30.7	10.8	5.4	0.0
	50～59歳	207	67.2	20.8	46.4	27.6	20.8	6.8	5.3	0.0
	60～69歳	297	71.4	26.6	44.8	23.9	19.5	4.4	4.4	0.3
	70歳以上	235	79.1	34.0	45.1	17.8	15.7	2.1	2.1	0.9
	不明	4	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	530	68.3	26.0	42.3	28.3	20.6	7.7	2.8	0.6
	女性	666	60.0	20.4	39.6	33.5	25.8	7.7	5.9	0.6
	不明	5	40.0	0.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
職業別	自営業主およびその家族従事者	222	67.1	27.0	40.1	28.8	22.5	6.3	3.2	0.9
	公務員、教員	35	80.0	28.6	51.4	17.2	14.3	2.9	2.9	0.0
	民間会社勤務・事務	186	50.5	17.2	33.3	41.9	31.7	10.2	5.9	1.6
	民間会社勤務・現業	106	56.6	16.0	40.6	34.9	28.3	6.6	7.5	0.9
	民間会社勤務・管理職	41	58.5	24.4	34.1	41.5	24.4	17.1	0.0	0.0
	医師・弁護士などの自由業者	49	49.0	18.4	30.6	49.0	30.6	18.4	2.0	0.0
	その他の有業者	77	70.2	24.7	45.5	27.3	22.1	5.2	2.6	0.0
	学生	12	25.0	16.7	8.3	58.4	41.7	16.7	16.7	0.0
	無職(学生以外の無職)	462	69.5	24.0	45.5	25.5	19.7	5.8	4.5	0.4
	不明	11	63.7	36.4	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	433	60.7	24.0	36.7	34.4	26.1	8.3	4.4	0.5
	10年以上住んでいる	582	68.4	22.7	45.7	27.7	22.2	5.5	3.6	0.3
	5年以上10年住んでいる	80	57.5	17.5	40.0	31.3	23.8	7.5	8.8	2.5
	3年以上5年未満住んでいる	51	49.0	19.6	29.4	41.2	25.5	15.7	7.8	2.0
	3年未満住んでいる	35	51.5	22.9	28.6	40.0	20.0	20.0	5.7	2.9
	不明	20	70.0	30.0	40.0	25.0	10.0	15.0	5.0	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

(3) 心理的要因からみた投票率

- ・投票を義務と考える人の投票率は高く、権利と捉える人がこれに次ぐが、棄権も個人の自由とする人は棄権の割合が多い。
- ・政治に対する不満が強いほど、投票率は低い。支持政党を持ち、支持が強いほど投票している。
- ・過去の投票履歴から見てもほぼ同じ傾向がみられる。義務感の強い人（次いで権利意識のある人）、政治不満の程度より低い人、支持政党を持つ人（特に支持の強い人）ほど、よく投票をしている。また、そういう人ほど今回の選挙への関心も強く、早くから投票する候補者を決める傾向がある。

表 市議会議員選挙の投票状況(Q6)

		回収数	投票した	投票しなかった
全体		1201	76.3	23.7
投票義務感別	投票は国民の義務である	524	89.7	10.3
	投票は国民の権利である	437	73.9	26.1
	投票する・しないは個人の自由	173	56.1	43.9
	なんともいえない	60	38.3	61.7
	不明	7	42.9	57.1
政治満足度別	十分満足している	3	100.0	0.0
	だいたい満足している	73	83.6	16.4
	やや不満足である	422	78.7	21.3
	全く不満足である	510	75.1	24.9
	どちらともいえない	131	66.4	33.6
不明	62	80.6	19.4	
支持政党有無別	ある	497	86.9	13.1
	ない	646	68.1	31.9
	不明	58	75.9	24.1
の政党程度支持別	強く支持している	235	91.1	8.9
	それほどでもない	260	83.1	16.9
	不明	2	100.0	0.0
投票が地方政治に反映する意識別	そう思う	237	88.2	11.8
	どちらかといえばそう思う	436	80.0	20.0
	どちらかといえばそう思わない	245	70.2	29.8
	そう思わない	159	61.0	39.0
	わからない	118	71.2	28.8
	不明	6	83.3	16.7

表 これまでの投票状況(Q24)

しかたがない投票	していただいている投票	てあまい投票し	が投票したこと	た有権者はじめて	答えたくない	不明
52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
67.4	27.9	3.8	0.4	0.4	0.0	0.2
49.7	36.6	11.7	0.7	0.7	0.5	0.2
26.0	38.7	26.0	2.9	0.6	5.8	0.0
11.7	38.3	35.0	10.0	0.0	5.0	0.0
28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60.3	28.8	9.6	0.0	1.4	0.0	0.0
54.0	34.8	9.7	0.7	0.5	0.2	0.0
50.0	33.7	12.4	1.8	0.0	1.8	0.4
41.2	31.3	16.8	3.8	2.3	3.8	0.8
64.5	25.8	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2
68.2	26.2	4.6	0.4	0.2	0.2	0.2
39.6	38.2	16.7	2.2	0.8	2.0	0.5
50.0	34.5	10.3	1.7	0.0	1.7	1.7
75.7	19.6	3.8	0.4	0.0	0.4	0.0
61.2	32.3	5.4	0.4	0.4	0.0	0.4
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
67.1	25.3	4.6	1.3	0.8	0.8	0.0
55.7	34.2	8.5	0.5	0.2	0.7	0.2
46.9	38.0	13.1	1.2	0.4	0.4	0.0
37.1	29.6	24.5	3.1	0.0	3.8	1.9
37.3	39.8	15.3	3.4	1.7	2.5	0.0
66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

注) 数値は回収数を100とした%

表 市議会議員選挙の関心度(Q5)

	回収数	計関心を 持った	持非常 に関心 を	持多 少は 関心 を	か関 心を 持た ない	持あ たり 関心 を	た全 く関 心 を	ない ど ち ら と も い え	不明	
全体	1201	63.6	22.8	40.8	31.3	23.6	7.7	4.5	0.7	
投票義務感別	投票は国民の義務である	524	74.4	29.6	44.8	22.1	18.9	3.2	3.4	0.0
	投票は国民の権利である	437	65.9	23.1	42.8	29.6	22.7	6.9	3.2	1.4
	投票する・しないは個人の自由	173	37.0	8.1	28.9	54.9	38.7	16.2	8.1	0.0
	なんともいえない	60	31.7	6.7	25.0	55.0	26.7	28.3	13.3	0.0
	不明	7	42.9	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0	28.6
政治満足度別	十分満足している	3	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	だいたい満足している	73	82.2	28.8	53.4	15.1	9.6	5.5	2.7	0.0
	やや不満足である	422	65.9	20.6	45.3	30.1	24.9	5.2	3.1	0.9
	全く不満足である	510	63.2	26.3	36.9	32.6	21.6	11.0	3.9	0.4
	どちらともいえない	131	43.6	9.2	34.4	45.1	38.2	6.9	10.7	0.8
不明	62	72.6	32.3	40.3	17.7	16.1	1.6	8.1	1.6	
支持政党有無別	ある	497	77.0	35.8	41.2	18.7	14.7	4.0	3.6	0.6
	ない	646	53.2	11.9	41.3	41.4	30.7	10.7	4.8	0.6
	不明	58	63.8	32.8	31.0	25.9	20.7	5.2	8.6	1.7
の政党支持程度別	強く支持している	235	85.5	52.3	33.2	11.5	8.5	3.0	2.6	0.4
	それほどでもない	260	69.6	20.8	48.8	25.4	20.4	5.0	4.6	0.4
	不明	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
投票が地方政治に反映する意識別	そう思う	237	83.5	48.9	34.6	14.8	11.4	3.4	1.7	0.0
	どちらかといえばそう思う	436	73.2	22.5	50.7	23.6	20.4	3.2	2.5	0.7
	どちらかといえばそう思わない	245	54.3	13.1	41.2	39.6	29.8	9.8	5.7	0.4
	そう思わない	159	33.9	9.4	24.5	59.1	37.1	22.0	5.7	1.3
	わからない	118	48.3	10.2	38.1	37.3	28.0	9.3	12.7	1.7
不明	6	50.0	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	

表 市議会議員選挙の候補者決定の時期(Q12)

	投票した人	た前選 か挙 期決 間に 入る	ご選 ろ挙 期決 めの 初め	ろ選 に挙 期決 めた 中 ご	り選 ご挙 期決 の終 わ	た投票 当日 に決 め	おぼ えて いな い	不明	
全体	916	36.9	12.8	8.6	21.3	17.4	2.5	0.5	
投票義務感別	投票は国民の義務である	470	39.6	13.4	8.3	20.4	16.4	1.5	0.4
	投票は国民の権利である	323	37.2	11.8	8.7	25.1	13.6	2.8	0.9
	投票する・しないは個人の自由	97	20.6	15.5	11.3	14.4	33.0	5.2	0.0
	なんともいえない	23	39.1	4.3	4.3	17.4	26.1	8.7	0.0
	不明	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支持政党有無別	ある	432	51.4	14.8	6.0	14.8	11.6	0.7	0.7
	ない	440	23.4	11.4	11.1	27.3	22.5	3.9	0.5
	不明	44	29.5	6.8	9.1	25.0	22.7	6.8	0.0
の政党支持程度別	強く支持している	214	64.0	14.0	5.1	10.7	4.7	0.9	0.5
	それほどでもない	216	39.4	15.7	6.5	19.0	18.5	0.5	0.5
	不明	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

注) 数値は投票した人を100とした%

(4) 組織加入からみた投票率

- ・後援会の果たす役割は大きく、加入していると申告した人は、全体から見ると1割未満であるが、その人たちは今回も含め、選挙にはきわめて良く参加している。また市議会議員選挙への関心は高く、非加入者の低調な関心と明瞭な違いを示している。
- ・後援会以外の団体についても投票との関連が見られる。結びつきの深い団体の数を各回答者ごとに調べてみると、団体数が多い人ほど、今回の投票率が高くなる傾向が見られた。
- ・関心の点度も同様で、さらに過去の投票履歴についても関係団体数が多い人ほど、よく投票している。とりわけ、地域振興会・町内会などの地域系団体との結びつきが投票参加や関心の高さに関係している。

表 市議会議員選挙の投票状況(Q6)

		回収数	投票した	投票しなかった	不明
全体		1201	76.3	23.7	0.0
後援会加入状況別	会員になっている	93	90.3	9.7	0.0
	会員になっていない	1098	75.1	24.9	0.0
	不明	10	70.0	30.0	0.0

表 投票とつながりの強い団体の数

団体の数	今回投票	今回関心	投票履歴
地域団体	○	○	○
私的団体		○	
職業団体			
社会的団体	○	○	
全部	○	○	○

地域団体 : 地域振興会・町内会、女性団体、老人会(老人クラブ)、青年会  
 私的団体 : 趣味、スポーツ、旅行などレクリエーションのグループ  
 職業団体 : 労働組合、職場のサークル、同業団体・商店会など業者団体  
 社会的団体 : 宗教団体、政治団体、学術団体・文化団体、消費者団体、社会事業団体  
 全部 : 上記4種類+その他

○印の付いてる部分は関連あり  
 (例: 関連団体数が多いほど投票確率が高い)

表 これまでの投票状況(Q26)

		回収数	かならず投票している	したい投票している	あまり投票していない	投票したことがない	今回はじめて有権者になった	答えたくない	不明
全体		1201	52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
後援会加入状況別	会員になっている	93	74.2	23.7	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
	会員になっていない	1098	49.9	34.1	12.3	1.5	0.5	1.4	0.3
	不明	10	70.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0

表 市議会議員選挙の関心度(Q5)

		回収数	計関心を持った	非常に関心を持った	多少は関心を持った	関心を持たなかった計	あまり関心を持たなかった	全く関心を持たなかった	どちらともいえない	不明
全体		1201	63.6	22.8	40.8	31.3	23.6	7.7	4.5	0.7
後援会加入状況別	会員になっている	93	85.0	52.7	32.3	14.0	12.9	1.1	0.0	1.1
	会員になっていない	1098	61.9	20.3	41.6	32.6	24.4	8.2	4.8	0.6
	不明	10	50.0	20.0	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

(5) 情報環境からみた投票率

- ・一般に、情報量が多いほど投票に行く傾向がある。今回選挙への関心についても同様のことが言える。情報量が多い（十分である）ほど関心も高く、逆に情報に不足を感じる人は関心も低い。過去の投票実績との関係では、今回選挙でも情報量が多いと評価する人ほどよく投票してきた。
- ・ここでの情報量の多少は、有権者の主権的な評価である。情報を多く持つ人は、そもそも普段から関心を持って政治にコミットすると考えられる。これに対し、情報が不足していると感じる人は、今回に限らず政治的関心が低く、特に情報を収集することもないまま、投票日に判断を迫られている可能性が高い。

表 市議会議員選挙の投票状況(Q6)

		回収数	投票した	か投 つ票 した しな
全体		1201	76.3	23.7
候補者決定 の判断材料	十分だった	175	96.0	4.0
	まあまあだった	457	87.3	12.7
	多少は不足だった	324	75.9	24.1
	非常に不足だった	203	46.3	53.7
	不明	42	21.4	78.6

表 市議会議員選挙の関心度(Q5)

		回収数	計関 心を 持 った	持 つ た に 関 心 を	持 多 少 は 関 心 を	か 関 心 を 持 た な	持 あ た り か 関 心 を	た 全 く 関 心 を 持	え ど ち ら と も い	不 明
全体		1201	63.6	22.8	40.8	31.3	23.6	7.7	4.5	0.7
候補者決定 の判断材料	十分だった	175	90.3	54.9	35.4	6.9	6.9	0.0	1.1	1.7
	まあまあだった	457	72.9	23.4	49.5	22.1	18.8	3.3	4.6	0.4
	多少は不足だった	324	58.7	16.4	42.3	35.5	29.9	5.6	4.9	0.9
	非常に不足だった	203	33.5	7.4	26.1	61.1	36.0	25.1	5.4	0.0
	不明	42	35.7	7.1	28.6	54.7	35.7	19.0	9.5	0.0

表 これまでの投票状況(Q24)

		回収数	る 計 票 し て い	票 か し な て ら い ず る 投	票 だ し て い い る 投	し あ て ま い り な 投 い 票	と 投 票 し た こ	な て 今 回 は 有 権 者 に め	い 答 え た く な	不 明
全体		1201	85.1	52.0	33.1	11.4	1.4	0.5	1.2	0.4
候補者決定 の判断材料	十分だった	175	94.9	82.3	12.6	2.9	1.1	0.6	0.0	0.6
	まあまあだった	457	91.7	57.3	34.4	7.0	0.2	0.7	0.4	0.0
	多少は不足だった	324	81.8	46.0	35.8	14.5	1.2	0.6	0.9	0.9
	非常に不足だった	203	71.9	32.5	39.4	21.2	3.0	0.0	3.9	0.0
	不明	42	59.5	7.1	52.4	23.8	9.5	0.0	4.8	2.4

注) 数値は回収数を100とした%

(6) 投票者の行動と考え方

- ・投票先の決定時期についてみると、選挙への関心度や投票義務感、政党支持など、選挙の関与度の高い層ほど決定時期が早い。選挙に対するスタンスが決まっていることが高い投票率につながっている。
- ・これに対し、関心の低い層では、投票した人でも決定時期が遅く、安定的な投票者とはいえない。決定時期の遅い人が増えていることと併せ、今後心配な点である。

表 市議会議員選挙の候補者決定の時期(Q12)

		投票した人	か選挙 決 め 間 に 入 ら な い 前	ご選挙 に 期 間 の は じ め	に選挙 決 め た 中 ご ろ	ご選挙 に 期 間 の 終 わ り	投票 当 日 に 決 め た	おぼえて い な い	不 明
全体		916	36.9	12.8	8.6	21.3	17.4	2.5	0.5
年齢別	20～24歳	27	14.8	7.4	3.7	22.2	37.0	14.8	0.0
	25～29歳	31	32.3	0.0	0.0	9.7	51.6	6.5	0.0
	30～39歳	122	21.3	9.8	11.5	25.4	29.5	2.5	0.0
	40～49歳	114	36.0	7.0	9.6	25.4	19.3	1.8	0.9
	50～59歳	161	34.2	15.5	8.1	23.0	16.1	2.5	0.6
	60～69歳	244	41.8	15.2	8.6	20.5	12.7	1.2	0.0
	70歳以上	214	46.3	15.4	8.9	18.2	7.5	2.3	1.4
	不明	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	320	37.2	14.7	7.5	20.3	16.6	3.4	0.3
	10年以上住んでいる	465	39.1	13.3	8.6	20.9	15.5	2.2	0.4
	5年以上10年住んでいる	55	30.9	3.6	10.9	23.6	30.9	0.0	0.0
	3年以上5年未満住んでいる	37	27.0	8.1	8.1	24.3	27.0	2.7	2.7
	3年未満住んでいる	23	8.7	4.3	26.1	43.5	8.7	4.3	4.3
	不明	16	50.0	12.5	0.0	6.3	31.3	0.0	0.0
市議選への 関心度別	非常に関心を持った	265	60.8	12.8	7.9	11.3	6.0	0.8	0.4
	多少は関心を持った	415	31.1	15.4	9.4	26.5	15.4	1.7	0.5
	あまり関心を持たなかった	165	21.2	6.7	8.5	25.5	32.7	4.8	0.6
	全く関心を持たなかった	27	18.5	3.7	0.0	11.1	51.9	11.1	3.7
	どちらともいえない	38	13.2	18.4	10.5	23.7	28.9	5.3	0.0
	不明	6	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
投票義務感別	投票は国民の義務である	470	39.6	13.4	8.3	20.4	16.4	1.5	0.4
	投票は国民の権利である	323	37.2	11.8	8.7	25.1	13.6	2.8	0.9
	投票する・しないは個人の自由	97	20.6	15.5	11.3	14.4	33.0	5.2	0.0
	なんともいえない	23	39.1	4.3	4.3	17.4	26.1	8.7	0.0
	不明	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
支持政党 有無別	ある	432	51.4	14.8	6.0	14.8	11.6	0.7	0.7
	ない	440	23.4	11.4	11.1	27.3	22.5	3.9	0.5
	不明	44	29.5	6.8	9.1	25.0	22.7	6.8	0.0
有勧誘 有無別の	ある	120	36.7	20.0	11.7	19.2	10.0	1.7	0.8
	ない	683	32.2	11.9	8.8	23.7	20.1	2.9	0.4
	不明	22	45.5	18.2	0.0	13.6	18.2	0.0	4.5
入後 状況 別加	会員になっている	84	72.6	7.1	6.0	8.3	6.0	0.0	0.0
	会員になっていない	825	33.2	13.2	9.0	22.8	18.5	2.7	0.6
	不明	7	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0

注) 数値は投票した人を100とした%

- ・投票理由を心理的要因から見ると、改革志向が全体的に強くなっている中で、有権者は大きく2つのグループに分けることができる。
- ・政党支持を強く持ったり、後援会に入ったりしている人は、他の人と比べ、より候補者や政党への支援を理由に挙げる。つまり、これら投票確率の高い人は、政党や後援会との結びつきに基づく積極的な動機を有している。
- ・逆に、政党支持がなく、後援会に入っていない人は、投票の必要性や義務を投票理由に挙げている。

表 市議会議員選挙で投票した理由 (Q9)

		投票した人	候補者がいてもか選らしたい	かもしりたてたい政党がある	今の政治は思わくないので	政治を良くするだけから投票	投票するのは市民の義務	代表から選ぶことからはじめる	地方自治は自分たちは	団体・組織、知り合いな	その他	不明
	全体	916	8.7	9.7	11.9	24.6	29.7	10.2	2.6	2.2	0.4	
政治満足度別	十分満足している	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	だいたい満足している	61	14.8	9.8	4.9	23.0	32.8	8.2	1.6	3.3	1.6	
	やや不満足である	332	10.5	8.4	10.2	25.3	32.2	10.2	1.8	1.2	0.0	
	全く不満足である	383	6.5	11.7	16.2	23.5	25.1	9.9	3.1	3.7	0.3	
	どちらともいえない	87	4.6	8.0	5.7	25.3	40.2	10.3	4.6	0.0	1.1	
	不明	50	14.0	4.0	10.0	30.0	24.0	14.0	2.0	0.0	2.0	
支持の有無別	ある	432	13.9	14.8	12.3	21.1	24.3	8.6	2.8	1.9	0.5	
	ない	440	3.6	4.8	10.9	28.6	35.2	11.4	2.3	2.7	0.5	
	不明	44	9.1	9.1	18.2	18.2	27.3	13.6	4.5	0.0	0.0	
の政程度別	強く支持している	214	19.6	18.2	15.9	16.8	17.3	7.9	2.3	1.4	0.5	
	それほどでもない	216	8.3	11.6	8.8	25.0	31.5	9.3	3.2	2.3	0.0	
	不明	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
入後状況別	会員になっている	84	27.4	8.3	8.3	27.4	17.9	10.7	0.0	0.0	0.0	
	会員になっていない	825	6.8	9.8	12.2	24.2	30.9	10.2	2.9	2.4	0.5	
	不明	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
投票が地方政治に反映する意識別	そう思う	209	13.9	14.8	11.5	24.4	21.1	11.5	1.4	1.4	0.0	
	どちらかといえばそう思う	349	9.7	9.5	11.7	26.1	30.7	9.5	1.1	1.4	0.3	
	どちらかといえばそう思わない	172	3.5	6.4	15.7	27.3	31.4	8.1	2.3	4.1	1.2	
	そう思わない	97	6.2	5.2	9.3	19.6	33.0	15.5	6.2	4.1	1.0	
	わからない	84	6.0	9.5	9.5	17.9	39.3	8.3	8.3	1.2	0.0	
	不明	5	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

注) 数値は投票した人を100とした%

- ・候補者選択の理由を心理的要因から見ると、政党支持保有者は、当然、その候補者や政党の政策に賛成という。また、地方政治に反映する意識が高い人も政策思考を示している。
- ・後援会に入っている人たちの地元利益志向が目につく。

表 市議会議員選挙での候補者選択の理由(Q11)

		投票した人	その候補者の政策や主義・主張に賛成だから	その候補者の所属している政党の政策や主義・主張に賛成だから	その候補者は、地元のためにつくし	その候補者は、事業の上での利益を代表してくれるから	その候補者は、自分たちの言い分や立場を代表してくれるから	その候補者には世話になっている(なったことがある)から	その候補者と同じ団体・組織の会員だから	その候補者の後援会に入っているから	その候補者をよく知っているから	その候補者は、政治の現状を改めるのにふさわしい人物だから	その他	不明
全体		916	14.5	42.8	18.1	0.3	2.8	1.1	0.9	0.9	3.2	5.8	7.6	2.0
政治満足度別	十分満足している	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	だいたい満足している	61	29.5	19.7	19.7	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	6.6	9.8	8.2	3.3
	やや不満足である	332	14.2	41.3	22.3	0.3	4.2	1.2	1.2	0.3	2.1	7.2	4.2	1.5
	全く不満足である	383	12.3	51.2	11.2	0.3	2.6	0.5	0.5	0.8	3.7	3.9	11.7	1.3
	どちらともいえない	87	12.6	35.6	26.4	1.1	1.1	3.4	1.1	2.3	1.1	4.6	5.7	4.6
	不明	50	20.0	30.0	26.0	0.0	2.0	2.0	0.0	2.0	6.0	8.0	0.0	4.0
有無別 支持政党	ある	432	16.0	48.6	16.9	0.2	2.1	0.5	1.6	1.4	1.2	5.8	3.7	2.1
	ない	440	13.0	38.0	19.5	0.2	3.4	1.6	0.0	0.2	5.2	5.7	11.4	1.8
	不明	44	15.9	34.1	15.9	2.3	4.5	2.3	2.3	2.3	2.3	6.8	9.1	2.3
の政 度支 別持	強く支持している	214	19.6	48.1	16.4	0.0	0.9	0.5	0.9	1.9	0.5	6.5	2.3	2.3
	それほどでもない	216	12.0	49.5	17.1	0.5	3.2	0.5	2.3	0.9	1.9	5.1	5.1	1.9
	不明	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入後 状援 況会 別加	会員になっている	84	15.5	27.4	31.0	0.0	3.6	1.2	0.0	8.3	2.4	6.0	3.6	1.2
	会員になっていない	825	14.4	44.4	16.7	0.4	2.8	1.1	1.0	0.1	3.3	5.8	8.0	2.1
	不明	7	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
投票が 反映する 意識別 という	そう思う	209	17.2	45.5	14.8	1.0	1.9	1.4	1.0	0.5	2.4	7.7	5.3	1.4
	どちらかといえばそう思う	349	14.3	45.6	19.5	0.0	3.7	1.1	0.0	1.4	3.2	5.4	5.2	0.6
	どちらかといえばそう思わない	172	18.6	41.3	15.1	0.6	1.7	0.0	1.7	0.6	3.5	4.1	9.9	2.9
	そう思わない	97	8.2	36.1	19.6	0.0	3.1	0.0	2.1	0.0	3.1	7.2	16.5	4.1
	わからない	84	7.1	36.9	26.2	0.0	2.4	3.6	1.2	1.2	4.8	3.6	9.5	3.6
	不明	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0

注) 数値は投票した人を100とした%

## 2-2. 心理的要因

### (1) 投票義務感

- ・年齢的には、高齢層に義務であると考えている人が多い。また、中年層は義務と権利で意見が分かれている。一方25～29歳は、投票・棄権は個人の自由と考える人が他の年代より多い。
- ・棄権と結びつきやすい「個人の自由」グループは、政治的不満を持つ人、支持政党のない人に多く、政治に満足している人、支持政党のある人と比べると差が見られる。

表 投票義務感(Q25)

		回収数	投票義務であることは国民の義務	投票であることは国民の権利	投票自由である・しないは個人の自由	なんともいえない	不明
全体		1201	43.6	36.4	14.4	5.0	0.6
年齢別	20～24歳	37	43.2	40.5	13.5	2.7	0.0
	25～29歳	72	26.4	34.7	25.0	13.9	0.0
	30～39歳	183	37.7	38.8	15.8	7.1	0.5
	40～49歳	166	39.8	35.5	19.3	4.8	0.6
	50～59歳	207	41.5	36.2	17.4	4.8	0.0
	60～69歳	297	47.8	36.0	10.8	4.0	1.3
	70歳以上	235	53.2	35.7	8.5	2.6	0.0
	不明	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
政治満足度別	十分満足している	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	だいたい満足している	73	60.3	31.5	8.2	0.0	0.0
	やや不満足である	422	44.5	38.6	13.3	3.3	0.2
	全く不満足である	510	41.6	37.1	16.3	4.5	0.6
	どちらともいえない	131	38.9	27.5	17.6	16.0	0.0
	不明	62	41.9	41.9	8.1	3.2	4.8
支持政党有無別	ある	497	51.1	37.6	8.7	2.2	0.4
	ない	646	37.8	35.4	18.9	7.3	0.6
	不明	58	44.8	36.2	13.8	3.4	1.7
入後状況別	会員になっている	93	65.6	29.0	3.2	1.1	1.1
	会員になっていない	1098	41.9	37.2	15.2	5.3	0.5
	不明	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0
投票が地方政治に反映するかどうかという意識別	そう思う	237	52.7	38.8	6.8	1.7	0.0
	どちらかといえばそう思う	436	45.6	37.4	12.8	3.7	0.5
	どちらかといえばそう思わない	245	40.8	40.8	14.3	4.1	0.0
	そう思わない	159	37.1	29.6	24.5	6.9	1.9
	わからない	118	34.7	26.3	22.0	16.1	0.8
	不明	6	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7

注) 数値は回収数を100とした%

(2) 政治満足度

- ・棄権と結びつきやすい政治不満を持つ人は多く、回答者の7割強にのぼり、特に中年層の不満が多くみられる。
- ・心理的には、地方政治と疎遠で無力感のある人ほど、不満は深く広まっている。

表 現在の政治の満足度(Q26)

		回収数	十分満足している	しだいたい満足	やや不満である	全く不満である	どちらともいえない	不明
全体		1201	0.2	6.1	35.1	42.5	10.9	5.2
年齢別	20～24歳	37	0.0	5.4	32.4	45.9	16.2	0.0
	25～29歳	72	0.0	4.2	27.8	51.4	13.9	2.8
	30～39歳	183	0.0	5.5	36.6	47.5	8.2	2.2
	40～49歳	166	0.6	2.4	29.5	54.2	9.0	4.2
	50～59歳	207	0.0	2.9	37.2	48.3	7.7	3.9
	60～69歳	297	0.3	5.7	35.4	38.7	12.5	7.4
	70歳以上	235	0.4	13.2	38.3	26.4	13.6	8.1
	不明	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	433	0.5	4.2	36.7	45.5	8.3	4.8
	10年以上住んでいる	582	0.0	6.9	34.5	39.7	13.2	5.7
	5年以上10年住んでいる	80	1.3	7.5	45.0	37.5	7.5	1.3
	3年以上5年未満住んでいる	51	0.0	5.9	17.6	62.7	9.8	3.9
	3年未満住んでいる	35	0.0	8.6	31.4	37.1	14.3	8.6
	不明	20	0.0	15.0	30.0	35.0	10.0	10.0
支持政党の有無別	ある	497	0.2	9.5	36.0	39.8	8.0	6.4
	ない	646	0.3	3.9	33.6	44.6	13.6	4.0
	不明	58	0.0	1.7	44.8	41.4	5.2	6.9
の政程度別支持	強く支持している	235	0.4	11.5	30.2	43.8	5.5	8.5
	それほどでもない	260	0.0	7.7	41.2	36.5	10.4	4.2
	不明	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
入後状況別加	会員になっている	93	0.0	9.7	39.8	30.1	9.7	10.8
	会員になっていない	1098	0.3	5.6	34.9	43.5	11.0	4.6
	不明	10	0.0	20.0	20.0	40.0	10.0	10.0
投票が地方政治に意識別	そう思う	237	0.0	10.5	34.6	39.7	8.0	7.2
	どちらかといえばそう思う	436	0.7	7.3	40.8	37.4	8.5	5.3
	どちらかといえばそう思わない	245	0.0	4.1	36.7	47.3	6.9	4.9
	そう思わない	159	0.0	2.5	25.2	58.5	10.7	3.1
	わからない	118	0.0	1.7	24.6	35.6	34.7	3.4
	不明	6	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7

注) 数値は回収数を100とした%

(3) 支持政党の有無および政党支持の程度

- ・ 政党支持は政治の世界と人々を心理的に結びつける要である。年齢とともに支持政党を持つ人は増える傾向にある。職業では、公務員・教員、管理職の人に多く、事務系・現業系サラリーマンには少ない。政党支持者は投票を義務・権利といった公的な性格を持つと考える。
- ・ また、政党支持は後援会加入と結びつく。政治不満の少ない人、自分の生活と地方政治の関係を感じている人、投票の有効性を感じている人ほど、政党支持を持つ可能性が高い。この傾向は、政党支持の程度（強弱）にも当てはまり、強い政党支持を持つ人に関して、一層顕著である。

表 支持政党の有無(Q28-1)

表 政党支持の程度(Q28-2)

		回収数	ある	ない	不明	が政 党 あ る 支 持 人	し強 てく い支 る持	でそ もれ ない ほど	不 明
全体		1201	41.4	53.8	4.8	497	47.3	52.3	0.4
年齢別	20～24歳	37	32.4	59.5	8.1	12	41.7	58.3	0.0
	25～29歳	72	27.8	68.1	4.2	20	35.0	65.0	0.0
	30～39歳	183	31.1	62.3	6.6	57	42.1	57.9	0.0
	40～49歳	166	31.3	62.7	6.0	52	53.8	46.2	0.0
	50～59歳	207	35.3	59.4	5.3	73	43.8	54.8	1.4
	60～69歳	297	48.5	48.1	3.4	144	49.3	50.7	0.0
	70歳以上	235	58.3	38.3	3.4	137	48.9	50.4	0.7
	不明	4	50.0	25.0	25.0	2	50.0	50.0	0.0
性別	男性	530	45.8	49.1	5.1	243	49.0	50.6	0.4
	女性	666	37.8	57.7	4.5	252	45.6	54.4	0.0
	不明	5	40.0	40.0	20.0	2	50.0	0.0	50.0
職業別	自営業主およびその家族従事者	222	43.2	50.0	6.8				
	公務員、教員	35	54.3	37.1	8.6				
	民間会社勤務・事務	186	31.2	62.4	6.5				
	民間会社勤務・現業	106	31.1	64.2	4.7				
	民間会社勤務・管理職	41	46.3	53.7	0.0				
	医師・弁護士などの自由業者	49	40.8	55.1	4.1				
	その他の有業者	77	31.2	63.6	5.2				
	学生	12	8.3	83.3	8.3				
	無職(学生以外の無職)	462	48.1	48.9	3.0				
	不明	11	45.5	36.4	18.2				
投票義務感別	投票は国民の義務である	524	48.5	46.6	5.0	254	48.8	51.2	0.0
	投票は国民の権利である	437	42.8	52.4	4.8	187	49.7	49.2	1.1
	投票する・しないは個人の自由	173	24.9	70.5	4.6	43	27.9	72.1	0.0
	なんともいえない	60	18.3	78.3	3.3	11	45.5	54.5	0.0
	不明	7	28.6	57.1	14.3	2	50.0	50.0	0.0
政治満足度別	十分満足している	3	33.3	66.7	0.0	1	100.0	0.0	0.0
	だいたい満足している	73	64.4	34.2	1.4	47	57.4	42.6	0.0
	やや不満足である	422	42.4	51.4	6.2	179	39.7	59.8	0.6
	全く不満足である	510	38.8	56.5	4.7	198	52.0	48.0	0.0
	どちらともいえない	131	30.5	67.2	2.3	40	32.5	67.5	0.0
	不明	62	51.6	41.9	6.5	32	62.5	34.4	3.1
入後状況別加	会員になっている	93	69.9	26.9	3.2	65	64.6	35.4	0.0
	会員になっていない	1098	38.8	56.3	4.9	426	44.8	54.7	0.5
	不明	10	60.0	30.0	10.0	6	33.3	66.7	0.0
投票が地方政治に反映する意識別	そう思う	237	56.5	40.1	3.4	134	64.2	35.8	0.0
	どちらかといえばそう思う	436	45.4	49.8	4.8	198	43.9	55.6	0.5
	どちらかといえばそう思わない	245	35.5	58.0	6.5	87	40.2	58.6	1.1
	そう思わない	159	25.8	69.2	5.0	41	29.3	70.7	0.0
	わからない	118	28.8	68.6	2.5	34	38.2	61.8	0.0
	不明	6	50.0	16.7	33.3	3	66.7	33.3	0.0

(注) 数値は回収数を100とした%

(4) 投票が地方政治に反映するという意識（有効性感覚）

- ・有効性感覚は、高齢層、中高年層、公務員・教員に強く、若年層、事務系サラリーマンでは弱い。政党支持や後援会加入により、有効性感覚は促進される。
- ・逆に、政治に対する不満の強い人や地方政治に距離を感じる人は、自分たちの投票が政治に反映されていないと感じている。

表 投票が地方政治に反映するという意識 (Q32-1)

		回収数	そう思う	そど そう 思ら うか とい えば	そど そう 思ら わな い え ば	そう 思わ ない	わ から ない	不 明
全体		1201	19.7	36.3	20.4	13.2	9.8	0.5
年齢別	20～24歳	37	24.3	24.3	16.2	18.9	16.2	0.0
	25～29歳	72	15.3	25.0	31.9	19.4	8.3	0.0
	30～39歳	183	18.6	39.9	15.8	17.5	8.2	0.0
	40～49歳	166	14.5	38.0	18.1	15.7	13.9	0.0
	50～59歳	207	18.8	35.7	20.8	15.9	8.2	0.5
	60～69歳	297	21.9	34.7	22.9	10.1	10.4	0.0
	70歳以上	235	23.4	40.0	19.1	7.2	8.5	1.7
	不明	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
性別	男性	530	21.9	38.1	18.7	14.0	6.8	0.6
	女性	666	18.2	34.7	21.8	12.8	12.3	0.3
	不明	5	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0
職業別	自営業主およびその家族従事者	222	24.3	36.0	21.2	10.4	8.1	0.0
	公務員、教員	35	25.7	42.9	14.3	14.3	2.9	0.0
	民間会社勤務・事務	186	16.7	36.0	23.7	15.1	8.6	0.0
	民間会社勤務・現業	106	16.0	34.0	21.7	14.2	14.2	0.0
	民間会社勤務・管理職	41	19.5	39.0	12.2	26.8	2.4	0.0
	医師・弁護士などの自由業者	49	22.4	34.7	18.4	18.4	6.1	0.0
	その他の有業者	77	10.4	42.9	20.8	15.6	10.4	0.0
	学生	12	16.7	25.0	33.3	16.7	8.3	0.0
	無職(学生以外の無職)	462	20.6	35.7	19.3	11.7	11.7	1.1
不明	11	18.2	36.4	27.3	0.0	9.1	9.1	
居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	433	19.6	36.3	21.7	12.7	9.5	0.2
	10年以上住んでいる	582	21.3	36.3	19.9	11.2	10.7	0.7
	5年以上10年住んでいる	80	16.3	38.8	18.8	20.0	6.3	0.0
	3年以上5年未満住んでいる	51	19.6	33.3	21.6	17.6	7.8	0.0
	3年未満住んでいる	35	11.4	34.3	20.0	20.0	14.3	0.0
不明	20	5.0	40.0	10.0	35.0	5.0	5.0	

(次ページに続く)

注) 数値は回収数を100とした%

表 投票が地方政治に反映するという意識(Q32-1) (続き)

		回収数	そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない	わからない	不明
全体		1201	19.7	36.3	20.4	13.2	9.8	0.5
投票義務感別	投票は国民の義務である	524	23.9	38.0	19.1	11.3	7.8	0.0
	投票は国民の権利である	437	21.1	37.3	22.9	10.8	7.1	0.9
	投票する・しないは個人の自由	173	9.2	32.4	20.2	22.5	15.0	0.6
	なんともいえない	60	6.7	26.7	16.7	18.3	31.7	0.0
	不明	7	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3	14.3
政治満足度別	十分満足している	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	だいたい満足している	73	34.2	43.8	13.7	5.5	2.7	0.0
	やや不満足である	422	19.4	42.2	21.3	9.5	6.9	0.7
	全く不満足である	510	18.4	32.0	22.7	18.2	8.2	0.4
	どちらともいえない	131	14.5	28.2	13.0	13.0	31.3	0.0
不明	62	27.4	37.1	19.4	8.1	6.5	1.6	
支持政党別	ある	497	27.0	39.8	17.5	8.2	6.8	0.6
	ない	646	14.7	33.6	22.0	17.0	12.5	0.2
	不明	58	13.8	36.2	27.6	13.8	5.2	3.4
の政程度別	強く支持している	235	36.6	37.0	14.9	5.1	5.5	0.9
	それほどでもない	260	18.5	42.3	19.6	11.2	8.1	0.4
	不明	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
入後状況別	会員になっている	93	32.3	38.7	12.9	9.7	6.5	0.0
	会員になっていない	1098	18.7	36.2	21.1	13.7	10.0	0.4
	不明	10	20.0	30.0	10.0	0.0	20.0	20.0

注) 数値は回収数を100とした%

(5) 関心を持つ選挙

- ・男性は衆議院選挙を重視している人が多いが、女性では衆議院選挙を重視する人と意識しない人が同数いる。
- ・支持政党のある人は、政党間の競争である衆議院選挙への関心が高いのに対し、後援会加入者は、候補者の戦いである市議会議員選挙に注目している。

表 いちばん関心を持つ選挙の種類(Q23)

		回収数	衆議院議員選挙	参議院議員選挙	知事選挙	府議会議員選挙	市長選挙	市議会議員選挙	いくつに関心を持っていない	不明
全体		1201	35.8	1.2	16.5	0.9	13.8	7.7	21.4	2.7
性別	男性	530	49.2	1.7	12.3	0.8	12.1	6.0	16.4	1.5
	女性	666	25.4	0.8	19.5	1.1	15.3	9.2	25.4	3.5
	不明	5	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
市議会議員選挙への関心度別	非常に関心を持った	274	45.3	2.2	9.9	1.5	16.4	14.6	9.5	0.7
	多少は関心を持った	490	36.3	0.8	19.6	1.0	14.5	8.6	16.5	2.7
	あまり関心を持たなかった	283	30.7	1.1	18.0	0.7	12.7	3.2	32.5	1.1
	全く関心を持たなかった	92	32.6	1.1	14.1	0.0	5.4	0.0	42.4	4.3
	どちらともいえない	54	18.5	0.0	16.7	0.0	14.8	1.9	35.2	13.0
	不明	8	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	37.5
支持政党の有無別	ある	497	44.7	1.6	12.3	1.4	14.5	11.7	10.7	3.2
	ない	646	29.4	0.9	19.3	0.6	13.6	5.0	29.4	1.7
	不明	58	31.0	0.0	20.7	0.0	10.3	5.2	24.1	8.6
後援会加入状況別	会員になっている	93	39.8	2.2	9.7	4.3	6.5	24.7	9.7	3.2
	会員になっていない	1098	35.4	1.1	17.1	0.6	14.6	6.4	22.2	2.6
	不明	10	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0

注) 数値は回収数を100とした%

(6) 政治不信の理由

- ・政治不信は、昨今多くの人に共有されており、投票率を低下させる一つの要因となっている。その内容は本来、多様であるが、今回の調査では問題対応力へのなさが多く挙がっている。
- ・不満の方向をみると、「説明不足」「一部の利益重視」に対する不満が強い。

表 政治不信の理由 (Q27)

	政治に不満を持っている人	関心や議会は、自分のような一有権者の要望には	い政府や議会は、国民(市民)に十分な説明をしない	利益を重視している	政府や議会は、現在の諸問題に対応する力がない	は全く何の関係もない	政治を行っている人は、自分のような一有権者と	実施された政策の結果について、国民(市民)は	不明
全体	932	15.7	35.1	33.7	50.4	7.6	21.2	1.6	
政治不信別	一有権者の要望には関心を払わない	146	100.0	12.3	32.2	25.3	11.6	7.5	0.0
	国民に十分な説明をしない	327	5.5	100.0	15.6	38.2	2.8	20.8	0.0
	国民全体ではなく一部の利益重視	314	15.0	16.2	100.0	34.7	4.8	11.1	0.0
	現在の諸問題に対応する力がない	470	7.9	26.6	23.2	100.0	2.3	11.3	0.0
	政治家と一有権者とは全く関係ない	71	23.9	12.7	21.1	15.5	100.0	4.2	0.0
	政策結果をチェックできない	198	5.6	34.3	17.7	26.8	1.5	100.0	0.0
	不明	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

注) 数値は政治に対する不満の理由として当該項目を挙げた人を100とした%